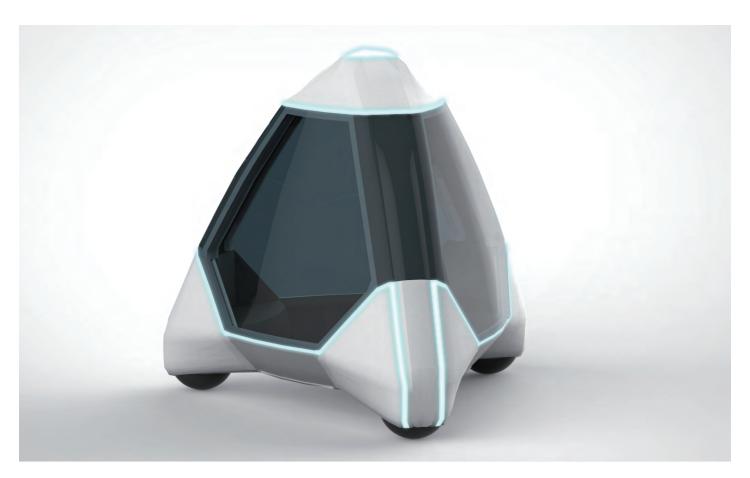
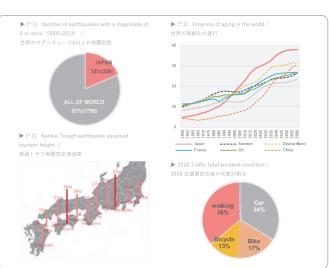


△ tetra

New mobility design solves the problem of severe floods and mobility vulnerable 激甚化する水害と移動弱者の問題を解決する新しい移動のデザイン

自動運転/低速移動 災害(津波/洪水等) 1次救命ポット 地域コミュニティ再生





激甚化する水害

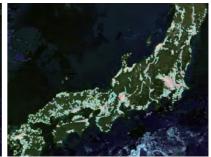
▶自然災害 ▶ 日本の自然災害の多くは津波と洪水。 → 日本の自然災害の事とはる。 → 日本の自然災害の事とはる。 → 日本の自然災害の事とはる。 → 日本の自然災害の事となる。 → 日本の自然災害の事となる。 → 日本の自然ではる。 → 日本のもなる。 → 日本のもななる。 → 日本のなる。 → 日本のなる。 → 日本のなる。 → 日本のなる。 → 日本のなる。 →

▶ Refelence 国土交通省 重ねるハザードマップ https://disaportal.gsi.go.jp/-maps/?II=36.465472,133.703613&z=6 =c1j010u0

▶ infrastructure
▶ Many natural disasters in Japan are tsunamis and floods.
IThe extent of tsunami inundation is limited to coastal areas, while flood in

▶ Refelence Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism https://disaportal.gsi.go.jp/-maps/111–36.465472,133.703613&z=6&base=pale&ls=s =±1010n0







移動弱者の問題(少子高齢化、運転免許返上、公共交通廃止などによる)

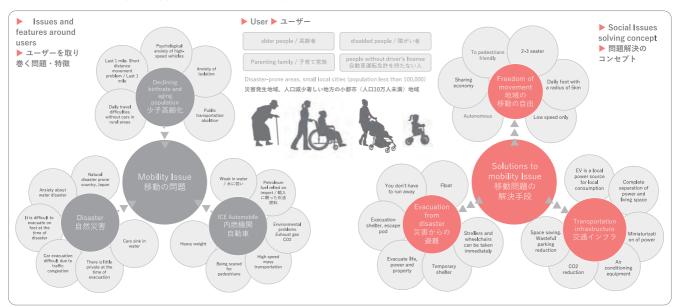
▶ 津波被害に対する意識が高い自治体にヒアリング 耐肉の、沼本市、高土市、女之間の、炭土市、前旬命市、福田市、添川市、浜松市。 津波到策を考えているが、それより発揮で落く、衛家に関かない場合を被奪や、様実成されるクチ系能化による人手不足による公共交通運営の関節をより深刻と捉えて 東波到策を考えているが、それより発展で落く、衛家に関わない場合を被奪や、様実成されるクチ系能化による人手不足による公共交通運営の関節をより深刻と捉えて

▶ Hearing to local governments with high awareness of tsunami damage Shizuoka City, Numazu City, Fuji City, Makinohara City, Yaizu City, Omaezaki City, Iwata City, Kak 6* Though we are considering tsunami countermeasures, we regard flood damage, which is more public transport management due to shortage of workers due to the alging of the birthate and ce

のこの極知合わせ間は、南海トラフ巨大地震のケース()、(3、毛、(3、毛、(3)、毛、(3)、毛、(3)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5)、(4、(5))))))))。



▶ ユーザー 低たちは 2000年以降の日本の地方の過味化問題がある小規模都市において、「少子高齢化社会」「自然災害」の被害を受ける「交通器者」をフォーカスします。 ▶ User We will focus on "traffic vulnerable" victims of "declining birthrate and aging society" and "natural disasters" in small cities with depopulation proble

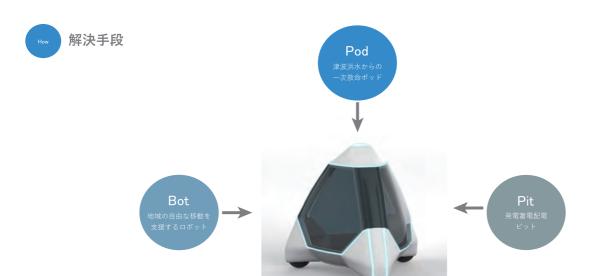


EV・クリーンエネルギー・持続可能性

- EV の利点 部品の小型化、単純な構造が容易。CO2 を提出しない、等。 - Advantages of EV - Sacy downsizing of parts and simple structure. Does not emit CO2, etc...

- バッテリーの能力 2009 年代には、電影ペックのエネルギー密度が上がり、EV の鉄鉄距離は5倍。コストは7分の1になると想定されます。 Battery capacity In the 2030s, the energy density of battery packs increased, and the cruising range of EVs was five times. The cost is expected to be one seventh
- 約2万点 約3~5万点 難しい(すり合わせが必要) 比較的容易 9949 479- 391-9- MR927 KMR 1292 走行中のCO。排出なし CO₂排出あり





津波洪水から命を救い地域の復旧を助けるモビリティ

ベビーカー 車椅子が すぐ乗れる 避難シェルタ 脱出ポッド 無理に逃げ なくて良い 移動弱者を 迎えに行く 浮く 避難所

- ▶ ベビーカーも載せられる空間。 バリアフリー設計。 属はコンパクトに折りたたまれます。乗機時は車体が下がり、乗り降りもスムーズです。 ▶ Space where baby strollers can be placed

Barrier-free design.
The door folds compactly. When getting on and off, the body lowers and getting on and

- 一次的避難空間。
 足が悪くても、乗り込むだけで避難する事ができます。
 ▶ Primary evacuation space.
 Even if you have bad feet, you can evacuate just by



- ▶水害から身を守る、一時避難時のシェルター。 水の災害から命を守るため、ボディは浮きます。歩くことが難しい人などは、乗り込んでさえいれば命を助けます。 ▶ Shelters at the time of disasters, tents for temporary evacuation.







20km/h 未満の低速で優しく移動 地域の活性化と地産地消を助けるモビリティ

歩行者に 優しい 半径3kmの 日常の足 2~3人 乗り 自動運転 低速専用 シェア

▶ 停車中。移動できる街中のコミュニケーションスポット。 ▶ Stopped. Mobile communication spots in the city.

▶ 半径 3km 程度の自由な移動を実現します。▶ Realizes freedom and movement with a radius of about 3km.



● 安全を守ります。 夜は常夜灯の様に光ります。 無人走行時は夜の倒を監視します。 ● Protect your night exfert



▶ Can also be used for daily transfers. 日常の送迎にも使用できます。 子供の通園の安全を守ります。



➤ Used for public rest areas and meeting spots.

公共の体態所、待ち合わせスポットにも活用。

爾が強い日差しを進ります。デッドスペースを活用し観光の待ち合わせ、体験所にも変化。







▶ インフラ ▶ 街の中心のインフランに変 カっていく。 日本の未来では「都市間の移動」と「部市内を移動」では異なる途化が進ちうとしています。 部の交通インフラの景質は光子化。 場代化する交通インフラを管理して使っていく向代になりました。 1日 日本のグランドデザイン 20 5 0 1 (**) 10 万針に扱って、コンパクトシティ化した結婚のから、 最後、会大党を基中心した人が発性関係の高ペインフラに募わっています。 日本でも同様の市別村が増えてい ぐでしょう。

▶ 片道 3km 程度の自由な移動を実現するインフラが求められる。 コンパクトシティの中の移動理を経じました。10万人規模の目前対後サンプルに、用途市域 (程度・開業 工場) に関さされているコワの周囲を提出「リしたところ、大学が中径 3km 以内 に収まりました。地勢の影響による展示形状の都市を考慮しても、5km 以内の方温移動を樹立した セジナラの心療性が加いを考えます。

and Tourism. It will change to infrastructure. In Europe, there are more and more clies where are same enter the city center. The number of similar managealities will knorses in Japan. It has been been been a sense of a minimal property of the sense of the sense in Japan. We werlied the travel distance in the compact city. Using a sample of municipalities with a scale of 100,000 people, we confirmed the range of dissignated areas for use (***), and most of them there is a high need for mobility assuming one-way movement within 5 km. Refelence

津山市の用途地域 (2007年版) 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高住居専用地域 第一種住居地域 第二種住居地域 単住居地域 近隣商業地域 百葉地域 FIRRN 工業地域 ▼検証例) 用途地域地図に、 市役所から半径1,2,3 kmの 同心円 ・ 参照県境津市(13万人) ・ 本大津波、洪水・長野県坂山 ・ 同山県津山市(10万人) 東 ・ 内部(川区第・洪水 ・ 「月川 英 地 域 マップ http://cityzone.mapex-net.net/



町共有のモバイル・バッテリーとして 非常時も平常時も電力の地産地消を担う

EVが地産地消 街の電源

発電 蓄電

酷暑に 空調機器

CO2削減

非常時に まとめて運搬

駐車場削減

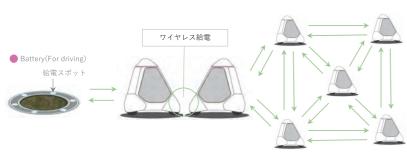
▶災害時に効率よく輸送できます。 コンパクトなボディは輸送時に幅を取りません。 ► We can transport efficiently at the time of disaster.

The compact hard stoke and take at the compact hard stoke at the compact hard.





■電力パランスを取りながら発電走行します。地面設置型の給電スポットは、待ち合わせ場所や休息場所になり、コミュニティーの中心となります。 温助に対めた電力で送上になると、結果ステーションに電気をシェアします。





技術 検証

ボディ形状による乗員の安全性の検証





▶衝撃に強いトラス構造 衝突物をいなすことで、衝撃を遠がせる形態 水上で回転が止まるため乗員が安全。

► Impact-resistant truss structure.

A form that allows you to escape the impact by hitting the collision object It stops immediately even if it rotates due to a collision on the water. Crew is safe

▶ The highly rigid tetra structure receives impact and flows away.
Smooth running is possible on narrow reads.
Narrow roads that were not able to pass with a square body can be rotate with the body in a non-directional f



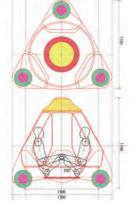


Package・駐車スペース効率検証

▶小型ボディで小スペース 普通乗用車1台分のスペースに4台駐車できます。センサーとアンテナを搭載し、自動/自立連転を実現し 哲選集用用1台分のスペー人に4台駐車できます。センサーとアンアデを拾載し、目動7日以連転を実現します。
 ます。
 3個の球伏タイヤ内にモーターとパッテリーを内蔵。車体とPP系を完全に分離することによって浮力を担保します。







技術検証

バッテリー、太陽光発電能力の検証



フル充電の約 26% 程度は 自身で発雷

1日発電量 5.17kWh/day 1時間の太陽光エネルギー: 約 1kW/ ㎡ 1日の平均日照時間: 約 3.5 時間 大陽エネルギー変換効率: 40% (*1) 発電パネル面積: 1.23×3=3.69 ㎡



フル充電走行距離 300km 充電せずに 4 日稼働

パッテリー重量:3 個で 80kg 電池容量:250Wh/kg×80kg=20kW/l 車体重量 / 総重量:350kg/550kg

1中 50% 稼働として 3*4*12*0.5=72km 走行 充電せずに 4 日稼働できる



フル充電の tetra で 1日以上まかなえる

家庭の電気使用量 1日 13~17kW/h tetra フル充電:20kW/h





他国地域への展開可能性の検証

▶世界の自然災害被害の内訳 マメリカ 中国の自然災害被害は日本よりも多い。

▶ Breakdown of natural disaster damage in the world The United States and China suffer more natural disasters than Ja



▶中国の自然災害被害の内訳 +マッセ 自然災害の65%は水害と台風が占める。

▶ Breakdown of natural disaster damage in China Floods and typhoons account for 65% of natural disasters in China



▶<mark>人口減少</mark> 14.6 億人をピークに減少し、2065 年には 13 億人へ。

▶ Population decline
It will decrease from a peak of 1.46 billion to 1.3billion in 2065.







▶中国南部広東省広州市 台風や河川氾濫による水害が頻発。

► Guangzhou, Guangdong Province, South China
Typhoons and river floods frequently cause flood
damage



▶広東省広州市で10万人規模の町を検証 日本の10万人都市よりも広範囲。

► Conclusion



・バッテリー容量増 ・活動範囲を片道 3km から 5km ^



・ボディサイズ拡大 ・定員1の増加



・活動範囲拡大に伴う ・走行スピードのアップ



サービスモデル検証

|想定していた町の中から、熱津市にフォーカスしてサービスを検証 ●南海トラフ地震、津波、洪水問題 ●今子高齢化(2010年から版に適か) ●人口はガスに自家用車り方台という自動車依存問題 ●土地が平単で人口出産技術品、(株子23 市中1位)

▶ Focus on Yaizu city from the town we expected

• Nankai Trough earthquake, tsunami, flood issues

• Biltrintare and aging population (afteady decreased from 2010)

• Car dependence problem of 90,000 private cars for a population of 140,000

• O'The Indi is fint and the population density is high (1 of 23 cities in the prefec



▶ 推津他区の中の、1km2 区域内で検証。

全体が第末常規模に指定されている地域。

今人口 5000 人

今イ 47 → 3000 合

67 高度は入口的 750 人

67 東京地 | 第介護 11 の登録者数、約100 人、後歩、自転車、公共交通や介護タクシーなどを使った通院や買い物はするものの、気軽に楽しむための外出は少ない。

Full and the within km2 area in Yaizu area.

Areas that are entirely designated as flood risk areas.

4 Population 2000 cars

6 Population 750 people aged 75 and over.

6 The number of registrants who need "support required" and "need nursing care 1" is about 100 people.

大きな施設店舗は、バス路線上から離れている 日常の東西方向の移動、バスへの乗り換えが特に不自由



(ケーススタディ) 主に高齢者・障害者を想定し、tetraを導入 tetra25台を分散配置。全域をカバー。



▶(ケーススタディ) 主に高齢者・障害者を想定して tetra を導入 (Case study) Introduce tetra mainly for elderly and disabled people

地域内に住む、高齢者・障害者に、tetraで移動の自由を提供できて いる状態

地域内の、75歳以上の高齢者・障害者で、他の人の支援を受けずに 気軽に外出できる自由がない人=400人

(75歳以上人口約750人。障害者も合わせて約800人。そのうち、家族の送迎が受けやすい人を約半数 4400人と規定。それ以外の人を規定)

① 1乗車あたりの所用時間15分

(時速10km/h走行で12分で2km。6分で1km。待ち時間などの余裕含み)

② 昼間8時間に32乗車、16往復。

③ 400人の一日一外出(1往復)を任されると、tetraは400÷16 = 25台

第3セク ター(既存 と同様)

●運賃 定額運賃か 都度払いの 選択

●基本は事 業者所有の オンデマン ドタクシー

トメソンー モデル (所 有も可能)

ひとりでも多くの命を救う

前提:日常時と同じ25台が配備されている状態で、災害時をシミュレーション

地域内に住む、要介護1・要支援登録、約100名のうち、他 の人の支援を受けずに避難行動が難しい人=約50人

①地域内部に常駐のtetraが、一斉に、要介護1、要支援登録者を迎えに行き避難

所への送迎を行う ②第一波到達から最大波到達までの約20分の間に、避難施設までの数百mの間を2 往復。25台×2 往復 - 50人 ③乗れば一次数命ができる教命ポッドの特徴を生かし、最後まで救助を行う

♥ とこ 災害時は自 治体・警 察・消防コ ントロール

●緊急避難

外部評価



Automotive Bureau.

Interview with the section chief and section chief who was also a contest judge.

We received more specific and detailed opinions and advice.









(4分プレゼンテーションの様子)

(国交省担当者から表彰状授与)

▶ 最新情報: 2021年1月 東京都立産業技術大学院大学研究紀要 第14号 P. 169 『水害被害と移動弱者の問題を解決する新しい移動のデザイン提案』 https://aiit.ac.jp/documents/jp/research_collab/research/bulletin/2021_bulletin.pdf